

コロンビア月例報告（3月分）

経済情勢

2013年4月

在コロンビア日本大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

- 21日、DANE（国家統計庁）は、2012年通年の実質GDP成長率が前年比+4.0%になった旨を発表した。
- 22日、中銀は政策決定会合にて、先月に引き続き政策金利を3.75%から3.25%に引き下げることを決定した。
- 2012年の対アジア・中東向け輸出額は81.0億ドルと49%増加したが、対日輸出に関しては31%減少し、3.6億ドルとなった。
- コーヒー生産者連盟を中心とした業界によるストライキが全国的に拡大した。現在、各生産者組合とも政府との話し合いで合意に至ったことから、ストライキは解除されている。

II 主な出来事

<国内情勢>

（1）経済見通し

（ア）財務省及び中銀（13日、当地紙報道）

カルデナス財務・公債大臣は2013年の経済成長見通しを4%と発表した。また、中銀は石炭の生産減少を理由に、本年第1四半期は景気にブレーキがかかると予想した。

（イ）フィッチ・レーティングス（7日、当地紙報道）

大手格付け会社フィッチ・レーティングス(S&P)は、コロンビアを投資適格級である「BBB-（見通し：安定的）」から「BBB-（見通し：ポジティブ）」に引き上げた。

（2）経済政策

コロンビアWTO大使任命（13日、当地紙報道）

ドゥケ商工観光省次官は、コロンビアのWTO大使に就任するため、近々、スイス・ジュネーブへ出発する。

（3）インフラ

（ア）ボゴタ市メトロ建設プロジェクト（15日、当地紙報道）

ボゴタ市財務課によれば、ボゴタで初めての地下鉄路線の総工費は約30億ドルになり、建設着工は2015年、完成は2018年を予定している。

（イ）リネア・トンネル建設計画（18日、当地紙報道）

キンディオ県カラルカ市とトリマ県カハマルカ市を結ぶ総延長8kmのリネア・トンネルはあと1.2kmで貫通する予定。舗装や配線工事の進行状況にもよるが、トンネル完成は2014

年7月になる見込み。

(4) 企業動向

(ア) 富士フィルム (1日, 当地紙報道)

富士フィルム社は、本年よりコロンビアに現地法人を設立し、従来の販売代理店を通じた販売体制から、直売体制に切り替えることとした。

(イ) 米国 Drummond 社船事故 (2日, 当地紙報道)

1日、国家環境ライセンス庁 (ANLA) は、Drummond 社に対する石炭の荷積み及び荷揚げ作業の一時停止命令を解除した。また、炭鉱から港湾への鉄道による石炭輸送について、夜間の運搬 (22:30 から 4:30 まで) の再開も許可した。

(ウ) セレホン炭鉱ストライキ (8日及び12日, 当地紙報道)

2月6日より始まったセレホン炭鉱労働者によるストライキは、32日経過した3月11日、労働者と経営陣が合意に至ったことで終結した。同ストライキによる損失額は日額 54 億ペソとされる。

(エ) GM・いすゞ社 (14日, 当地紙報道)

13日、GM・いすゞコロンビア工場に於いて、GM 及びいすゞの合併会社設立 5 周年記念及びバス・トラック生産ラインの新設 (投資額: 100 億ペソ) に伴う式典が行われた。

(オ) セレホン炭鉱鉄道襲撃 (15日, 当地紙報道)

14日、セレホン炭鉱の鉄道が FARC により襲撃され、17 車両が脱線し、1.7 万トンの石炭が散乱した。この襲撃によって石炭輸送が4日間にわたって麻痺した。

(カ) チリ銅公社 (26日, 当地紙報道)

銅の世界最大企業であるチリ銅公社 (CODELCO) がコロンビア鉱山・エネルギー省との間で、同国における銅採掘事業の開始に向けて合意した。

(5) その他

(ア) カカオ生産者によるストライキ (5日, 当地紙報道)

レストレポ農業大臣は、カカオ生産者に対する補助金支給を決定したことで、4日、同生産者によるストライキが解除されたと発表した。

(イ) トラック運転手によるストライキ (6日, 当地紙報道)

5日、トラック運転手は運輸省との間で3月及び4月のディーゼル価格を引き下げるとの約束のもと、3日間に及ぶストライキ (ブエナVENTOURA カリ間の道路封鎖) を中止した。

(ウ) コーヒー生産者によるストライキ (8日, 当地紙報道)

先月 25 日より始まった国内のコーヒー生産者によるストライキは、7日、政府との間で補助金拡大の合意がなされたことから、解除された。

< 対外経済関係 >

(1) 対米関係

(ア) 対米 FTA (1日, 当地紙報道)

ラクチュール PROEXPORT (コロンビア貿易振興庁) 総裁によれば、対米 FTA 締結一周年にあたる 5 月にマイアミに於いてビジネスフォーラムが開催され、これを機に米国の政府調達にコロンビアが参入できることとなる。

(2) 対英関係

6～8日、グリーン英国貿易投資大臣が同国企業家団体を帯同してコロンビアを訪問した。これら企業家はコロンビアにおけるインフラ整備、石油エネルギー、治安及び教育分野におけるビジネスチャンスを期待している。

(3) 対コスタリカ FTA

6日、2012年6月に開始した対コスタリカ FTA 交渉は、4回の交渉と2回の閣僚会合を経て交渉成立となった。同協定の署名は、5月23日にカリ市で開催される太平洋同盟首脳会合に併せ、両国大統領立ち会いのもと行われる予定。

(4) 対パナマ FTA

2010年10月から交渉がストップしていた対パナマ FTA 交渉は、11日～15日の日程で再開した。次回の会合は、5月28日～31日にパナマにて開催される。

(5) 対ニュージーランド関係

6日、サントス大統領はキー・ニュージーランド首相と会談し、同国との FTA 交渉に期待を寄せている旨発言した。

(6) 対日関係

(ア) 太平洋同盟

20日、ボゴタ市にて開催された太平洋同盟に関するフォーラムにディアス・グラナドス商工観光相が出席し、「太平洋同盟を構築する上で、日本とメンバー国間による投資促進に関する作業部会の設置を視野に入れている。」と述べた。

(イ) 対日貿易

商工観光省の統計によれば、2012年の対アジア・中東向け輸出額は81.0億ドルと49%増加し、41カ国と貿易を行った。一方、対日輸出は31%減少し、3.6億ドルとなった。

(7) その他

14日、カルタヘナにおいて太平洋同盟閣僚会合が開催された。次回の首脳会合は5月23日にカリで開催され、コロンビアがチリに代わり、持ち回り議長国を引き継ぐこととなる。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質 GDP 成長率 (21日, DANE 発表)

2012年第4四半期及び2012年通年の実質 GDP 成長率(以下、成長率)はそれぞれ前年同期比+3.1%、前年比+4.0%であった。2012年の成長率は、前年の成長率の+6.6%から大きく下落した。産業別にみると、前年は+14.4%の成長率を記録した鉱業が、本年は+5.9%と不調であった他、建設業も2011年の+10.0%から2012年の+3.6%と成長が伸び悩んだ。製造業に関しては、前年の+5.0%から▲0.7%とマイナス成長を記録した。

(イ) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

1月の実質工業生産指数(コーヒー豆加工を除く)は前年同月比▲1.7%であった。

(ウ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

1月の実質小売売上高指数は前年同月比+1.3%であった。家庭用情報機器が同+15.3%、

身の回り品・化粧品が+5.0%を記録した。

(エ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

2月の消費者信頼感指数 (ICC) は 14.9%と前月 (23.1%) を 8.2%ポイント下回り、前年同月比でも 11.9%ポイント下回った。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

2月の石油生産量は前年同月比 10.9%増の日量 99.8 万バレルであった。

(イ) コーヒー

(i) 生産

コーヒー生産者連盟 (FNC) によると、FNC 加盟コーヒー生産者による 2月のコーヒー生産量は、62.5 万袋 (1 袋=60 kg) と、前月の 87.7 万袋を大きく下回ったものの、前年同月の 57.1 万袋を上回った。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

2月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均 1 ポンド=1.62 ドル (前月は同 1.69 ドル、前年同月は同 2.44 ドル) であった。

(ウ) 新車販売 (11 日、当地紙報道)

2月の新車販売台数は 22,888 台であり、前年同月比▲16.3%を記録した他、1月から2月までの新車販売台数累計は 41,882 台と、前年同期比で▲16.3%であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

2月の消費者物価上昇率は+1.83% (前年同月比、以下同) と、前月の+2.00%から低下した。また、2月の生産者物価上昇率は 0.07%であった。

(イ) 雇用

2月の全国平均失業率は 11.8%と、前月の 12.1%より改善した。主要 13 都市の平均失業率も 12.3%と前月の 12.5%より僅かに改善した。

(4) 金融

(ア) 政策金利 (22 日)

中銀は政策決定会合にて、先月に引き続き政策金利を 3.75%から 50 ベースポイント引き下げ、3.25%にすることを決定した。今般の利下げは、2012 年 11 月から 5 ヶ月連続となる。

(イ) 為替介入 (12 日、当地紙報道)

中銀が 2月に行った為替介入 (ドル買い) の合計額は 8.2 億ドルであり、1月からの合計額は 13.9 億ドルに達した。

(5) 貿易収支 (DANE 発表)

1月の貿易収支 (FOB) は、2.13 億ドルの赤字を記録した。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比-1.1%の 47.35 億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比+19%の 52.01 億ドルとなった。

(6) 海外直接投資 (中銀発表)

2012 年の海外直接投資 (FDI) 流入額は 158.3 億ドル (前年比+17.8%) と過去最高を記

録した。このうち石油・鉱業分野への投資は全体の48.2%を占める。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	12/1	12/11	12/12	13/1
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	2.4	▲4.1	▲3.0	▲1.7
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	3.4	▲0.9	▲2.5	▲2.5
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	4.9	6.7	3.3	1.3
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	142.6	164.6	244.7	209.4
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	12/2	12/12	13/1	13/2
(ア) 全国平均	11.9	9.6	12.1	11.8
(イ) 主要13都市平均	12.5	10.1	13.1	12.3
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	12/2	12/12	13/1	13/2
(ア) 前月比	0.61	0.09	0.30	0.44
(イ) 前年同月比	3.55	2.44	2.00	0.61
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	12/3	13/1	13/2	13/3
	5.25	4.00	3.75	3.25
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	12/3	13/1	13/2	13/3
(ア) 月初	1,766.85	1,768.23	1,775.65	1,814.28
(イ) 月末	1,792.07	1,773.24	1,816.42	1,832.20
(ウ) 最高値	1,792.07	1,779.84	1,818.54	1,832.20
(エ) 最安値	1,758.03	1,758.45	1,775.65	1,797.28
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	12/3	13/1	13/2	13/3
(ア) 月初	15,169.74	14,715.84	15,110.80	14,785.82
(イ) 月末	15,038.26	14,995.18	14,838.13	14,135.35
(ウ) 最高値	15,288.01	15,035.59	15,194.72	14,785.82
(エ) 最安値	14,674.14	14,630.77	14,746.04	13,925.71
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	12/1	12/11	12/12	13/1
(ア) 輸出額 (FOB)	4,691.0	4,732.4	4,932.7	4,734.7
(イ) 同 年内累計	4,691.0	54,689.6	60,666.5	4,734.7
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,212.4	4,915.6	4,255.4	4,948.0
(エ) 同 年内累計	4,212.4	51,495.6	55,750.9	4,948.0
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	12/1	12/11	12/12	13/1
	302.9	339.0	370.1	322.2
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	12/3	13/1	13/2	13/3
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,912	8,493	8,624	8,752
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	12/2	12/12	13/1	13/2
(ア) 単月	27,371	26,443	19,994	22,888
(イ) 年内累計	50,827	315,968	19,994	41,882

(了)